



5月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和5年5月1日

新緑のまぶしい季節になり、鳥のさえずりも楽しそうに聞こえてきます。

園庭のこいのぼりも、さわやかな風のにり、気持ち良さそうに泳いでいます。

今年も、プランターの下に、ダンゴムシやてんとう虫などが見られるようになりました。

「先生、見て見て!」「ダンゴムシかな?ワラジムシかな?」「くるんと真ん丸になるのはダンゴムシなんだよね。」と、いつものこの時期の光景が見受けられるようになりました。

さくら組のMくんのお家から特大の幼虫をいただきました。皆で図鑑で調べながら育てています。どんなカブトムシに成長するか、今から楽しみにしています。池の周りでは、「ママにプレゼントするの!」とたんぽぽやつくしを摘んでいる子。川の土手のキジを見つけて喜んでいる子。時々キジが草に隠れて見えなくなると、「かくれんぼするの上手だね!」と、子どもの感性は豊かです。園庭の散策だけでも、幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿から、「思考力の芽生え」「自然との関わり」「豊かな感性と表現」につながってきます。また、子どもたちも新しい園生活に慣れてきましたので、これまで通り毎朝体操やかけっこをして、「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「健康な心と体」作りなどにつながっていきます。このように、人格形成の基礎を培う乳幼児期の遊びや生活の中では、たくさんの資質や能力が育まれて参りますので、今後も子どもたちがいろいろな体験を積み重ねていけるよう環境を整えて参ります。また、その様子を園だよりやホームページ、インスタなどに掲載して参りますので、どうぞ楽しみにしててください。

さて、5月5日は「こどもの日」です。「こどもの日」は昭和23年に制定された国民の祝日です。「こどもの日」は「子どもの人格を重んじ、子どもの幸福をはかるとともに母に感謝する」ことが趣旨とされています。また、5月5日は「端午の節句」でもあります。もともと中国から伝わった風習で、古来から男の子の健やかな成長を願って行われてきた行事です。「端午の節句」には、こいのぼりや絵のぼりをあげたり五月人形を飾ったりして、力強く元気な子どもになるように願います。また、新芽が育つまで冬の間も古い葉が落ちないことから「子孫繁栄」に繋がるとされ縁起の良い、柏の葉を使った柏餅を食べます。

明日からゴールデンウィークに入ります。お出掛けする機会も多くなるかと思えます。新型コロナウイルスの感染対策も緩和傾向にあります。引き続き感染対策を心掛け、怪我や事故のないようお過ごしください。また、子どもたちも日に日に園生活に慣れてきているところですので、これまでの生活のリズムを崩さないよう、「早寝・早起き・朝ごはん」で規則正しい生活を心掛けましょう。